

◇ グループ活動

グループごとにフィールドワークを中心に活動しました。

★植物グループ

午前中は、例年5月に実施している定点写真調査、コドラート調査の状況確認をしました。全般的には昨年と大差ありませんでした。

午後からは、植生回復に関する話し合いとナッツタの移植を行いました。また盛土擁壁沿いの起点部は早期に植生回復を図るため、成長の早い植物を植栽しました。

ナッツタの平行移動



全部で10本程度移植しました。

盛土擁壁沿いのナッツタを擁壁側に平行移動しました

盛土擁壁沿いの入口付近に、アカメガシワやクサギのような成長の早い植物を植栽しました



成長の早い植物を植えました



植物の成長は見られますが、昨年と大きな変化はありません。

コドラート調査の状況確認



一部、昨年までは踏み分け道だった箇所がしっかりした散策路になっていました

★施工グループ

前回の施工ワーキングで計画した簡易ダムづくりを交通グループのメンバーと協力して行ないました。今回ダムをつくったのは、いのちの谷の法面部分です。

簡易ダムづくり



暑い中、大勢で汗を流して作業をしました



倒木や間伐材を使いました



完成！

簡易ダムで表土の流出を防ぎます

現地の確認

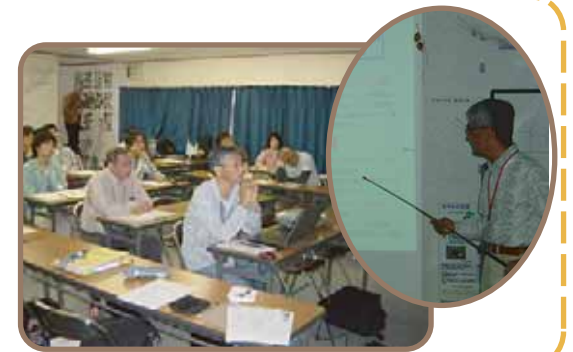
今年度初めの施工ワーキングということで、新しいメンバーも加わったため、継続的に観測している水位調査などの場所や方法、これまで課題となってきた現場の確認などをしました。



◇ 学びの時間

相生山緑地の地形や地質、インスペクター制度の成り立ち、ヒメボタルについての基礎知識など、岡村インスペクターのお話を聴きました。

ヒメボタルのシーズンを前に、その生態について、現時点で分かっていること、分からないことなど改めて確認することができました。分からないことが多いからこそ、慎重に守っていく努力をしていかなければならないと再認識しました。



『インスペクター制度』とは・・・

英国におけるインスペクター制度

計画案に異議が提出されると、利害関係のない第三者のインスペクターが「公開審問」の座長を務め、異議者・計画当局の双方に事実・論点の確認をし調停する。

名古屋市では、
反対派住民：道路は絶対反対
行政側：行政手続きに従い事業認可された計画を再検討するシステムがない



「環境に配慮した道づくり専門家会」

環境計画・自然観察指導・ランドスケープ・交通計画の専門家による「公開協議」でインスペクターとして技術的な判断への提言

★動物グループ

エコトンネルの南北両側には、継続的にセンサーカメラを設置してきました。

今回、3月14日のセンサーカメラに、南側で撮影された3分後に北側で撮影された記録がありました。

エコトンネル付近のセンサーカメラ映像



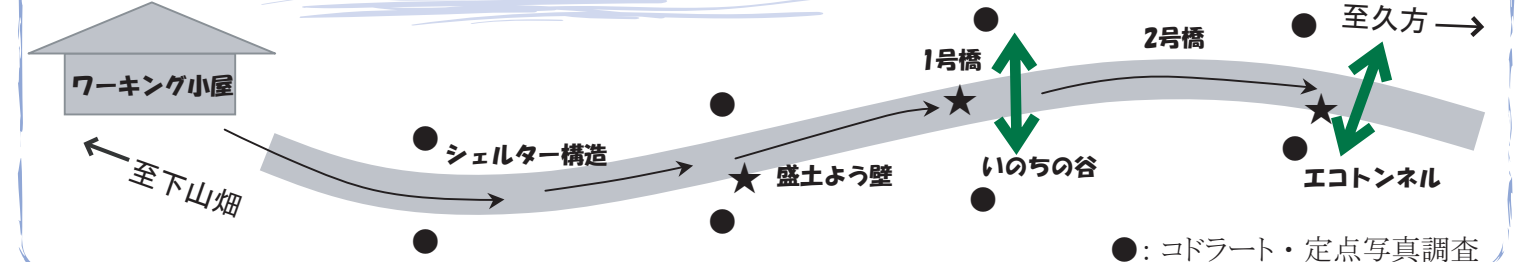
3月14日 19:46



3月14日 19:49

ようやくエコトンネルを通ってくれたかな？

★フィールドワーク位置図



BreakTime ～ホタルについて～

	ゲンジボタル	ヘイケボタル	ヒメボタル
大きさ	メス 18mm オス 15mm	メス 12mm オス 10mm	メス 7mm オス 9mm
すみか	きれいな小川、用水路	水田、用水路、小川	高原、平地、雑木林
幼虫のエサ	カワニナ	ヒメタニシ、ヒメモノアラガイ、サカマキガイなど	オカチョウジガイ、キセルガイなど
光りかた	いっせいにゆっくり	別々に尾を引くように	ストロボ光
発生時期	6月上旬～6月下旬	6月中旬～7月	5月中旬～6月上旬
産卵数	400～1000個	70～100個	50～100個

ヒメボタルの大きさ

